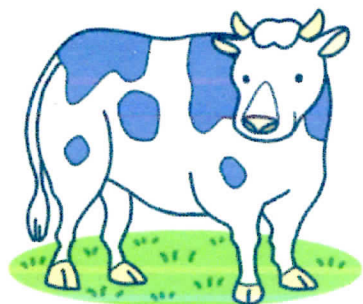


# 6月議会で市長に質問しました。

## 一般質問の要旨(6月15日)



質問（渡辺）

宮崎県で発生した家畜伝染病「口蹄疫」は、甚大な被害が毎日のように報道されている。新発田の畜産農家を守るため、市はどのような口蹄疫対策、取り組みを行ってきたか

答弁（市長）

新潟県における各種説明会等への出席や情報収集に努めている。庁内においても関係各課との情報共有や、市有機資源センターでの注意表示板の設置や消石灰による消毒剤の散布を行ってきています。

質問（渡辺）

当市で「口蹄疫」の発生が確認された場合、畜産農家だけの影響にとどまらない、地域経済への影響や、観光地への風評被害など計り知れない。危機管理体制を伺う。

答弁（市長）

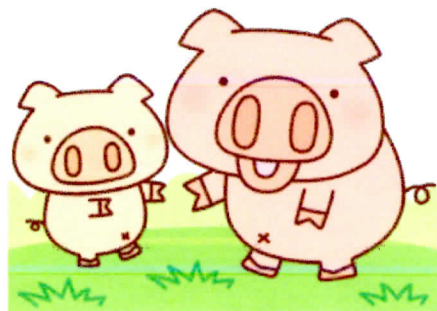
非常事態体制として、市長を本部長に、副市長、教育長等で構成する新発田市家畜伝染病対策本部を設置するとともに、農林水産課を中心に庁内関係各課と連携し総務班、発生地班、広報班、衛生班、移動規制班を組織する。そして新潟県口蹄疫現地対策本部の指示のもと、埋却処分や移動制限等の防疫活動に協力する事となる。

質問（渡辺）

新発田市農業における酪農、肉用牛、養豚の現状と畜産振興施策について伺う。

答弁（市長）

新発田市の畜産における農業産出額は県内一位であり、県内有数の畜産のまちである。畜産振興施策については、県畜産協会事業の推進と併せて畜産農家の経営や技術に関する指導の充実を図ってまいります。



質問（渡辺）

新発田市食料・農業振興協議会の行う畜産振興施策について伺う。

答弁（市長）

協議会事業に於いては、学校給食やイベント等における地場産農畜産物の積極的な利用拡大を図るとともに、消費拡大に向け、食肉や牛乳などの直接販売によるPR事業に取り組んでいるところです。

質問（渡辺）

閉鎖状態にある板山放牧場の活用計画について伺う。

答弁（教育長）

畑地としての活用は、猿の出没が多い地区であり電気柵による猿害対策を講じ、放牧場の一面において、里芋、山の芋、堀川ゴボウ、ワラビなどの試験栽培を行っております。施設の維持管理や冬期間の利用など、様々な課題があります。地元の皆さんや北越後農協とも協議しながら、今後の活用について幅広く検討していきます。